

プリアジャステッド アプライアンス

の

治療とモニタリング



不正咬合の解決策を思考する



元 奥羽大学歯学部教授 氷室利彦 著

いま、新たに、「プリアジャステッドシステム」を考える



プリアジャステッドシステムを理解するために、アプライアンスの開発と変遷、そこに携わった研究者の業績を紹介しながら、MBT™システムを応用した臨床例による診断と治療計画、治療のモニタリングと評価、問題点の解決法を一連のプロセスで示した。本書ではとくに、アーチフォームの観点から治療手順を考察し、上下顎犬歯のClass I 関係達成の重要性について解説。不正咬合の解決策を模索する実践書である。

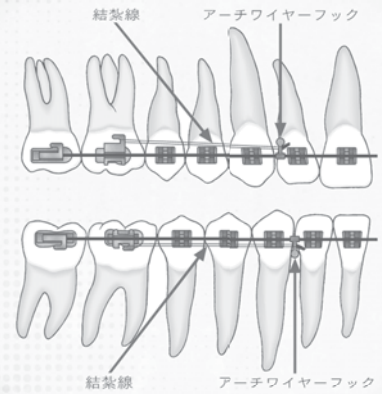
目次

- ▶ Chapter 1 わたしの考え方
- ▶ Chapter 2 プリアジャステッドアプライアンスを理解する
- ▶ Chapter 3 プリアジャステッドアプライアンスの基本
- ▶ Chapter 4 診断と治療計画
- ▶ Chapter 5 治療を管理する



「患者中心のオーソドンティクス」とは？

臨床に悩んでいたときに出会ったのが、McLaughlinとBennettによるJCOの一連の論文である。それらには、スタンダードブラケットを使ったエッジワイズ装置の欠点が明確に記載され、問題を解決する方法が記されていた。SWAを使っていたものの、思わしい結果が得られず手探りで苦慮していた当時、矯正歯科臨床へのあらたな希望が見えた瞬間であった。……本書「序」より抜粋



CONTENTS

Chapter 1 わたしの考え方

- 1-1 物事は連続しない
- 1-2 レスポンスベースドオーソドンティクス

Chapter 2 プリアジャステッドアプライアンスを理解する

- 2-1 スタンダードエッジワイズ装置からプリアジャステッドシステムへの道程
- 2-2 Andrewsのイノベーション
- 2-3 最適な咬合と比較したStraight-Wire®ApplianceとMBT™システムのプリスクリプション
- 2-4 プリアジャステッドアプライアンスの特徴
- 2-5 歯列弓形状は前歯部で決まる

Chapter 3 プリアジャステッドアプライアンスの基本

- 3-1 プリアジャステッドアプライアンス (MBT™システム) の歴史
- 3-2 プリアジャステッドアプライアンス (MBT™システム) の基礎知識
- 3-3 MBT™ システムにおけるプリスクリプションの変遷と妥当性
- 3-4 レベリング・アライニング
- 3-5 オーバーバイトコントロールとオーバージェットリダクション
- 3-6 空隙閉鎖とスライディングメカニクス
- 3-7 フィニッシング・細部調整

Chapter 4 診断と治療計画

- 4-1 治療ゴールに至るアルゴリズム
- 4-2 ブラケットの選択と歯の制御
- 4-3 ブラケットの位置づけとヒューマンエラー
- 4-4 アーチフォームの選択
- 4-5 上下顎歯列弓の近遠心的評価
- 4-6 Dental VTO
- 4-7 ポルトン分析

Chapter 5 治療を管理する

- 5-1 コミュニケーションツールによる治療のモニタリングと評価
- 5-2 問題を見つける
- 5-3 症例を思考する



コラム

- 「良い道具をそろえても結果は使い次第」
- 「プリアジャステッドアプライアンスの特性と限界」
- 「McLaughlin Bennett 5.0システムとは」
- 「犬歯関係の評価と治療計画のオプション」
- 「MBT™システムの治療アウトカム」
- 「ビッグデータの機械学習による診断支援に備える」

きりとり線

注文書

プリアジャステッドアプライアンスの治療とモニタリング 不正咬合の解決策を思考する

モリタ商品コード:208040650

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。